

1 概要

1-1 機能

- ・ 選択された図形の中からシンボルの数をシンボル名別に集計して図面に文字列として貼り付けます。
- ・ シンボル名はシンボル登録された名称で集計・貼り付けされます。
- ・ 選択された図形にシンボル以外の図形が含まれていてもシンボルだけを数えます。

1-2 操作方法

- ・ 先に集計したい図形を選択しておいてから、プラグインを起動して図面をクリックすると、クリックした位置に集計した結果が貼り付けられます。
- ・ 選択した図形や、選択した図形に含まれるシンボルの総数が、32768個以上ある場合は処理出来ません。その場合は、警告が表示されて処理を中止します。

1-3 ファイル名

- ・ 2ファイル (実行用) 員数.vsm
(設定用) 員数設定.vsm

1-4 ファイル名 (サンプル用)

- ・ サンプル作業画面・・・VectorWorks10用 → 員数サンプル VW10 標準 J.vww
VectorWorks10.5用 → 員数サンプル VW105 標準 J.vww
VectorWorks11用 → 員数サンプル VW11 標準 J plus.vww
VectorWorks11.5用 → 員数サンプル VW115 標準 J OCF.qtr
VectorWorks12用 → 員数サンプル VW12 標準.qtr
VectorWorks12.5用 → 員数サンプル VW125 標準.qtr
VectorWorks2008用 → 員数サンプル VW2008 DX.vww
VectorWorks2009用 → 員数サンプル VW2009 スタンダード.vww
VectorWorks2010用 → 員数サンプル VW2010 Fundamentals.vww

1-5 10以降用と12以降用の違い

- ・ 設定画面で「基本設定」を**“ボタンで呼び出す”**のと**“タブで切り替える”**の違いです。機能は同じです。
- ・ 10以降用をvectorWorks12以降のバージョンで使用することも可能です。

2 インストール

2-1 ファイルのコピー

インストール前にVectorWorksを終了しておいてください。

Windows

- ・ インストーラーを実行して、ウィザードに従ってインストールして下さい。
- ・ インストールしたVectorWorks内の「Plug-Ins」フォルダに**1-3**のファイルがコピーされます。
- ・ サンプル作業画面をインストールすると**1-4**のファイルが「Workspaces」にコピーされます。

Macintosh

- ・ ディスクイメージをマウントして「プラグイン」フォルダの中のファイル(**1-3**のファイル)をVectorWorksのフォルダの中の「Plug-Ins」フォルダにコピーして下さい。
- ・ サンプル作業画面をインストールする場合はVectorWorksのバージョンにあったファイル(**1-4**のファイル)を「Workspaces」フォルダにコピーして下さい。

2-2 作業画面を設定

プラグインを使用可能にするには、プラグインをメニューに登録する必要があります。

- ・ まずVectorWorksを起動
- ・ サンプル作業画面をインストールした場合はメニューの「ファイル」→「作業画面」からインストールした作業画面選択して下さい。
- ・ 自分で設定する場合はメニューの「ファイル」→「作業画面」→「設計...」を選択。
- ・ 12以降はメニューの「ツール」→「作業画面」にあります。
- ・ 開いたウィンドウの「現在の画面を設計変更」または「現在の画面の複製を設計変更」を選択
- ・ メニュータブの左側の<SL>内の「員数」と「員数設定」を右側の任意の場所にドラッグ&ドロップ(**図 2**)

2-3 例

図 1はメニューの「編集」に「員数」と「員数設定」を登録します。

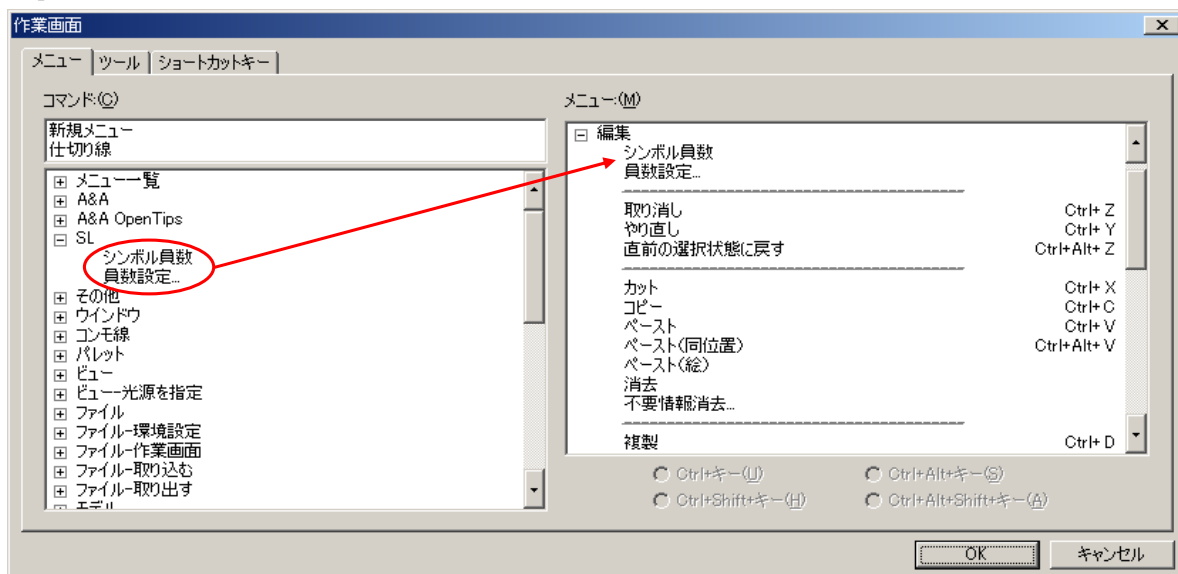


図 1 メニューの登録

※ 詳細はVectorWorksのヘルプの作業画面についての説明を参考して下さい。
※ 「員数」と「員数設定」は両方必要です。必ず両方ともメニューに登録してください。

3 設定

3-1 設定ファイル

設定の保存用ファイルを以下のフォルダに作ります。

VectorWorks10, VectorWorks11・・・VectorWorksをインストールしたフォルダ¥Plug-Ins¥Data
VectorWorks12以降

Windows・・・C:¥Documents and Settings¥username¥Application Data¥Nemetschek¥VectorWorks¥12¥Plug-Ins¥Data
Macintosh・・・/Users(ユーザー)/username/Library(ライブラリ)/Application Support/VectorWorks/12/Plug-In/Data
(username はコンピュータにログインしている現在のユーザの名前)

ファイル名

Windows・・・「Symb_Count.ini」と「Symb_CountEx.ini」

Macintosh・・・「Symb_Count.pref」と「Symb_CountEx.pref」

3-2 設定ダイアログ

- ・「員数設定」を起動または「員数」の初回起動時(設定の保存用ファイルがない時)に図3.1のようなダイアログが開きます。
- ・プラグインのバージョンアップ時や設定ファイルにエラーが生じた場合にも設定画面が開くことがあります。その場合は設定が全て初期化されます。
- ・必要な項目だけを判り易くするため、設定した内容で処理に関係なくなる項目はグレースアウトして変更・設定が出来なくなります。

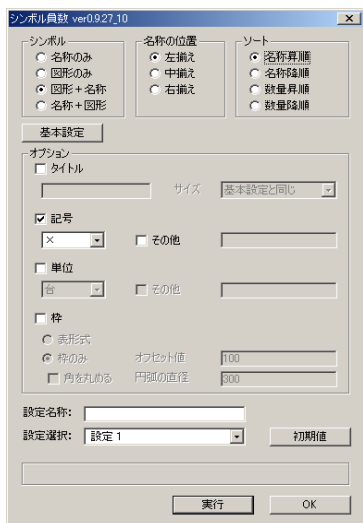


図3.1 員数設定ダイアログ(11以降用)

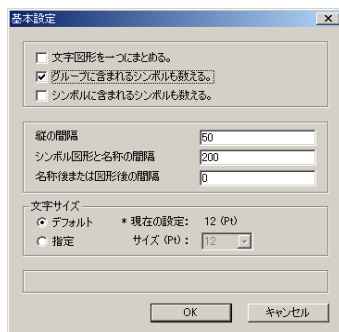


図3.2 基本設定(11以降用)

「シンボル」

- ・図面に貼り付ける員数のシンボル図形とシンボル名の有無と並び方

「名称の位置」

- ・シンボル名の整列の仕方

「ソート」

- ・員数を並べる順序の設定

「基本設定」

- ・10以降用はボタンを押すと図3.2の基本設定用のダイアログが別に関きます。
詳細は3-3

「オプション」

- ・員数の形式の詳細設定
詳細は3-4

「設定名称」、「設定選択」

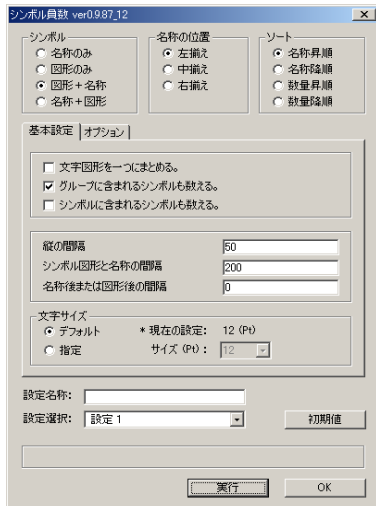
- ・5つの設定を保存することができます。
- ・各設定に名称を付けて保存できます。
- ・設定を変更したり設定に名前をつけると、設定選択が「設定 n」から「n 設定済」(nは1～5)に変わります。

「初期値」

- ・「設定選択」で選択されている設定を初期設定に戻します。
- ・「設定名称」は消えません。

員数

※ 12以降用は「基本設定」と「オプション」はタブによるきりかえになります。(図_4.1,図_4.2)



図_4.1 基本設定(12以降用)



図_4.2 オプション(12以降用)

3-3 基本設定

「文字図形を一つにまとめる」

- ・ シンボルの名称・記号・単位を一つの文字図形にします。

「グループに含まれるシンボルも数える」

- ・ グループ化された図形の中にシンボルが含まれている場合、そのシンボルも数えます。

「シンボルに含まれるシンボルも数える」

- ・ シンボルの内部の図形にシンボルがある場合、内部のシンボル全て数えます。
- ・ シンボルの階層は指定できません。

「縦の間隔」「シンボル図形と名称の間隔」「名称後または図形後の間隔」

- ・ 間隔の設定は例を参考にして下さい。

「文字サイズ」

- ・ 図面の文字サイズの設定を変えずに文字サイズを指定することが出来ます。
- ・ サイズの単位は図面の設定に関係なく「ポイント」です。

3-4 オプション

「タイトル」

- ・ 員数出するグループの名称をつける場合チェックをつけて名称を設定してください。
- ・ タイトルの文字サイズを員数の文字サイズと違うサイズにできます。

「記号」

- ・ 記号の前には半角スペースまたは半角スペース分の間、または「名称後または図形後の間隔」で指定した間が開きます。
- ・ 記号の後(員数の前)には半角スペースまたは半角スペース分の間が開きます。

「単位」

- ・ リストの中の記号を選択した場合は先頭に半角スペースが一つ入ります。漢字の単位にはスペースは入りません。

「枠」

- ・ 員数全体を四角形で囲います。「表形式」では中に縦横の線「枠のみ」ではタイトルと員数の間に線が入ります。
- ・ 「オフセット値」は員数全体の大きさに対して枠の四角形の大きさの調整を設定します。
- ・ 「角を丸める」にチェックを入れると「円弧の直径」で設定したサイズで四隅を丸めます。
- ・ 出来上がった枠はグループ化されています。グループを解除すると個別に編集できます。

4 例

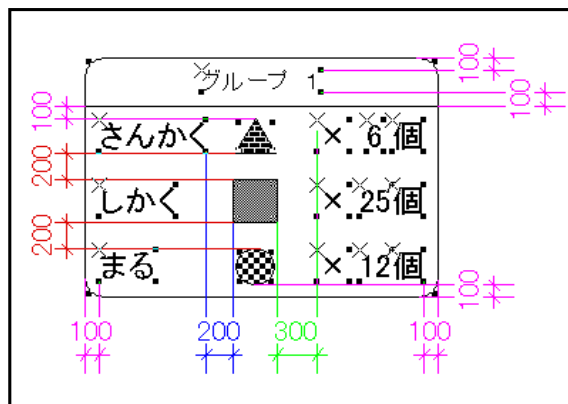
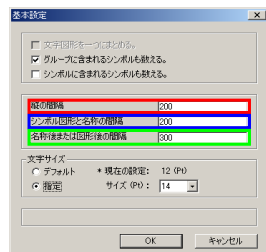
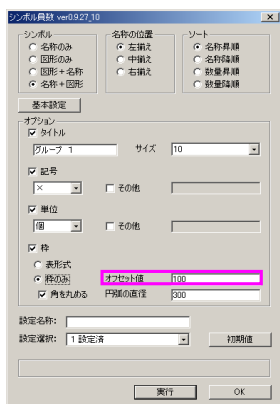
4-1 例

図形を選択する前にフォントの種類を設定して下さい。

タイトル、シンボル名、記号、単位、に全角文字が含まれる場合は日本語に対応したフォントを設定して下さい。

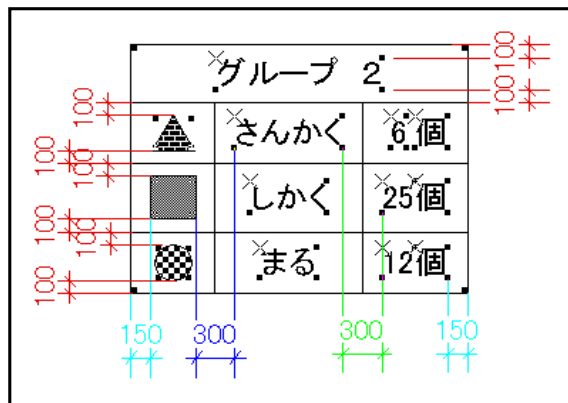
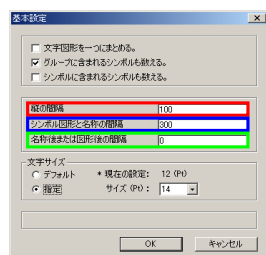
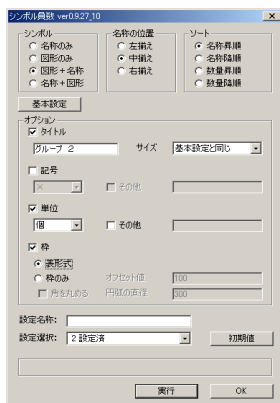
- ・ 三つのシンボル「まる」「しかく」「さんかく」を登録して使用した図面で「員数」を使用した例です。
- ・ 各例の設定と実行後の結果です。寸法の色は設定を囲んだ四角の色と対応しています。
- ・ 横方向の間隔は列ごとに一番幅の大きい図形、縦方向の間隔は各行ごとにシンボル図形と文字図形の高い方を基準にします。

4-2-1 例 1



※ 「名称後または図形後の間隔」を「0」に設定した場合は、半角スペース分の長さになります。

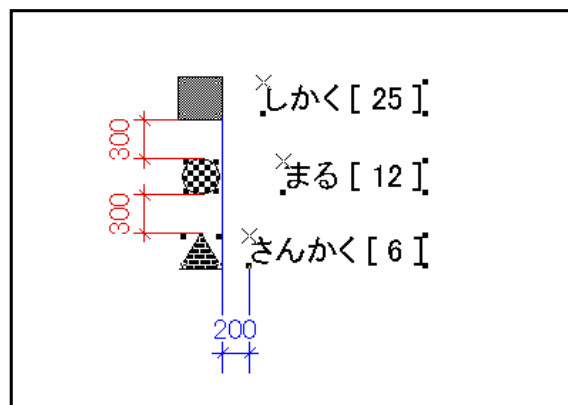
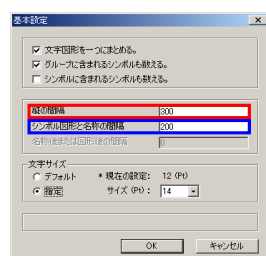
4-2-2 例 2



※ 水色の寸法は「シンボル図形と名称の間隔」の2分の1になります。

※ 「表形式」で「名称後または図形後の間隔」を「0」に設定すると「シンボル図形と名称の間隔」と同じ長さになります。

4-2-3 例 3



※ 「文字図形を一つにまとめる」にチェックを付けると、記号の前と員数の前にそれぞれ半角スペースが入ります。

※ 単位の設定で、リストの中の記号を選択した場合は単位の前に半角スペースが入ります。